

月収 月——お金。お金を表わしたままの手を、胸もとに引き寄せる。

欠席 「居る」と同じ手まね。即ち、家に居て、出ないこと。

決して 「必ず」と同じ。

決心 心——決める。

月賦 「月」を表わし、五指の指頭を右にさして掌を上に向けた左手の上に、五指の指頭を前方にさし掌を左側に向けた右手を宛ら組の上で物をほうちようで小さきさみにする動作をしてから、右手で「金銭」を表わして前にさし出す。小さきさみに分けて支払うこと。

月曜日 「月」の項ゆと同じ手まね。

下男 「給仕」と同じ手まねをして「男性」

下品 左手の掌の上に「男性」を表わした右手をのせ、そのまま低く下へ下げる下等な人物の意味。

獸けもの 掌を下向けて五指を鋭く屈めた両手を胸の前で、前後梢々斜めにならべる、獸の前肢の鋭い爪の表現。

家来 「男性」を表わした右手に、それより少し低い目に後にこれも「男性」を表わした左手を添える。その時左手の「男性」(親指)を少し屈める。「供の音」「部下」ともなる。

けれども 五指の指頭を前方にさし掌を下に向けた手を、くると掌を上向けに反転させる。



原因 「意味」と同じ手まね。

喧嘩 五指の指頭を集め合わせた両手を左右に互いの指頭で突つき、ねじり合わせる。

元氣 拳にした両手の腕を横に曲げて肘を左右に張る。

研究 「意味」と同じ要領の手まね。握り拳にした左手の手の首の下を、指頭を前方にさした右手の人差指を鎌をもむようにして斜め下に突き降して行く。事物をほじくって行くこと。つまり研究となる。

健康 「元氣」と同じ手まね。

現在 (今) 腹の前で、掌を下向け五指



の指頭を前方面角にさした両手を左右に僅かな間隔に並らべて、空間を下へ押えるように降す。「ここ今」

と云う気持で、自分の軀の位置を現在とする

建設 (建築) 「建てる」と同じ手まね。

剣道 両手で刀の柄を握り、青眼の構えをして打ち込め身振り。

幻燈 五指の指頭を上にし掌を内側に向けた左手をスクリーンとして、それに向って光線を当てるように五指の指頭を集め合せた右手をパツと開く。

拳斗 両手の拳で構えて、対手を打つ拳斗そのまゝの身振り。

憲兵 腕章——兵士。腕章は、右手の親指と人差指を少々広く開いて、その指頭で左腕の上に横に腕章を描く。

顕微鏡 五指の指頭を集め合せて、丸くした両手を上下に重ねて、顕微鏡の筒を形どり、上の方の手をぐるぐる廻らすようにしながら、(ピントを合わすこと)それに眼を近づけて伺く。

儉約 右手で「金銭」を表わしたのを右腹脇の前に位置させ、それを前から左手の掌で